【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2006-59743(P2006-59743A)
【公開日】平成18年3月2日(2006.3.2)
【年通号数】公開・登録公報2006-009
【出願番号】特願2004-242268(P2004-242268)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｂ　6/12　(2006.01)
Ｆ２４Ｃ　15/00　(2006.01)
Ｆ２４Ｃ　15/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｂ　6/12　３０５
Ｈ０５Ｂ　6/12　３１２
Ｆ２４Ｃ　15/00　Ｍ
Ｆ２４Ｃ　15/10　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成20年9月5日(2008.9.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
器具本体の上面にトッププレートを配置し、このトッププレートの周囲をプレート枠で覆い、前記トッププレート下部の器具本体内部にインダクションヒータと、このインダクションヒータを制御する制御部を備え、器具本体の後方上面に吸気口と排気口を配置してなる誘導加熱調理器において、前記プレート枠を前後、左右に四分割された枠体部品で構成し、それらの枠体部品の相対向する端部を、略中間に膨出部を有するジョイントにより接続し、枠体部品を接続したとき膨出部が表面から見えるようにプレート枠の表面よりも高くしたことを特徴とする誘導加熱調理器。
【請求項２】
前記プレート枠の枠体部品に、操作部や運転状態又は設定状態を数値、文字、図形等により表示する表示部を設けることを特徴とする請求項１記載の誘導加熱調理器。
【請求項３】
器具本体と、
該器具本体の上面に配置されたトッププレートと、
該トッププレートの周囲を覆う、複数の枠体部品で構成されたプレート枠と、
前記トッププレートの下側に設けられた左右インダクションヒータと、
本体の後方上面に設けられた、前記右左インダクションヒータを冷却する冷却用空気を吸気する吸気口と、
本体の後方上面に設けられた、前記右左インダクションヒータを冷却した廃熱を排出する排気口と、
を有した誘導加熱調理器であって、
前記吸気口および前記排気口は、前記複数の枠体部品のうち、前記トッププレートの後方の枠体部品に設けられており、
前記吸気口および前記排気口が設けられた枠体部品と他の枠体部品は、膨出部を有する

ジョイントで接続されていることを特徴とする誘導加熱調理器。
【請求項４】
請求項３に記載の誘導加熱調理器において、
前記枠体部品は金属材料からなっており、
前記ジョイントの膨出部は前記プレート枠の表面より高くなっていることを特徴とする誘導加熱調理器。